



環境活動報告書(2013年度)

(2014年10月発行)



株式会社 渡商会
WATARI Co.,Ltd.

目次

1.	会社概要	1
	(1) 株式会社渡商会	
	(2) 第一マルワ石油株式会社	2
	(3) WATARI VIETNAM Co.,Ltd.	
	(4) WATARI (THAILAND) Co.,Ltd.	
	(5) 売上高	3
	(6) I S O 1 4 0 0 1 活動の取り組み	
	(7) 報告書に関する情報	
2.	ご挨拶	4
3.	環境方針	
	(1) 環境方針	5
	(2) マネジメント体制	
4.	環境に関する取り組みの状況	6
	(1) 著しい環境側面	
	(2) 環境活動：目標	
	(3) 環境活動：結果	8
	(4) 個別の環境活動について	9
	① 地球環境への負荷の低減	
	i) フロン回収	
	ii) 車両の排気ガスのクリーン化	
	② 省エネルギー・省資源の推進	
	i) 電気使用量の削減	
	ii) 自動車燃料使用量の削減	1 0
	iii) コピー紙使用量の削減	1 1
	③ 廃棄物の削減及び資源リサイクルの推進	
	i) 産業廃棄物排出量の推移	
	ii) 金属リサイクルの取り組み	1 2
	iii) 紙類リサイクルの取り組み	
	iv) 再使用の取り組み	
	④ 環境商品の取り組み	1 3
	⑤ 地域社会との共生	1 4
	⑥ 法令順守の状況	
	⑦ 物流関連のエネルギー使用の状況	1 5
	⑧ 教育関連	
	⑨ 2 0 1 3 年度CO ₂ 排出量	
5.	投資	1 6

1. 会社概要

(1) 株式会社渡商会

商 号：株式会社渡商会

本 社 所 在 地：神奈川県横浜市子安通2丁目234番地

創 立：1925（大正14）年

設 立：1947（昭和22）年11月

代表取締役社長：河西哲男

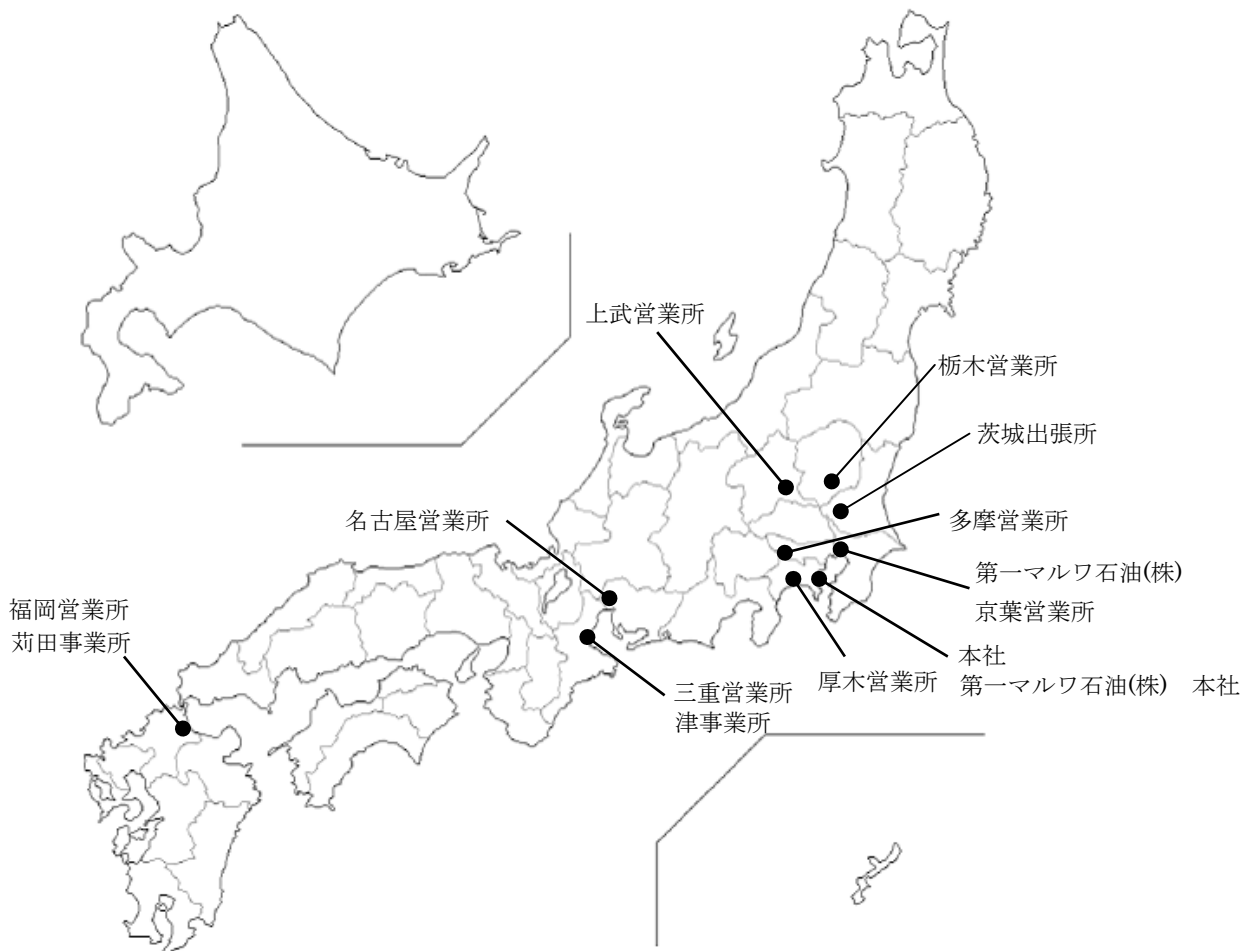
資 本 金：2,000万円

従 業 員 数：156名（2014年4月30日現在）

第一マルワ石油株式会社出向者除く

事 業 内 容：各種高圧ガスの販売、高圧ガス関連設備の設計施工管理
医療関連設備機器の販売、保守管理

営 業 所	栃木営業所	栃木県河内郡上三川町大字石田字北浦1240
	上武営業所	群馬県太田市新田上江田町450-1
	多摩営業所	東京都八王子市石川町2552
	厚木営業所	神奈川県厚木市長谷260-31
	名古屋営業所	愛知県名古屋市緑区大高町字寅新田1-1
	三重営業所	三重県津市雲出伊倉津町1268-3
	津事業所	三重県津市雲出鋼管町1
	福岡営業所	福岡県京都郡苅田町新浜町1-32
	苅田事業所	福岡県京都郡苅田町新浜町1-3
	茨城出張所	茨城県下妻市本城町2-77



(2) 第一マルワ石油株式会社

商 号：第一マルワ石油株式会社

本 社 所 在 地：神奈川県横浜市子安通 2丁目234番地

設 立：1974（昭和49）年7月

代 表 取 締 役：渡茂樹

資 本 金：1,000万円

従 業 員 数：6名（2014年4月30日現在：株式会社渡商会より出向）

事 業 内 容：石油製品の販売

営 業 所 京葉営業所 千葉県浦安市北栄1-11-1 ダイゴビル303

(3) WATARI VIETNAM Co.,Ltd.

商 号：WATARI VIETNAM Co.,Ltd.

本 社 所 在 地：Unit603-6th Floor-Phuong Tower 31C Ly Tu Trong St.,Dist1,HCMC,Vietnam

設 立：2012年11月

代表取締役社長：河西健二

資 本 金：500,000 USD

事 業 内 容：高圧ガス、ガス設備・機器、ガス配管の設計・施工・管理、ガス漏れ警報装置、溶接材料

(4) WATARI (THAILAND) CO.,Ltd.

商 号：WATARI (THAILAND) CO.,Ltd.

本 社 所 在 地：Country Complex Tower A 11th., located at 223/41

Sunpawut Rd., Bangna, Bangkok, 10260 Thailand.

設 立：2013年9月

Managing Director：岩野正行

資 本 金：3,300,000 Baht

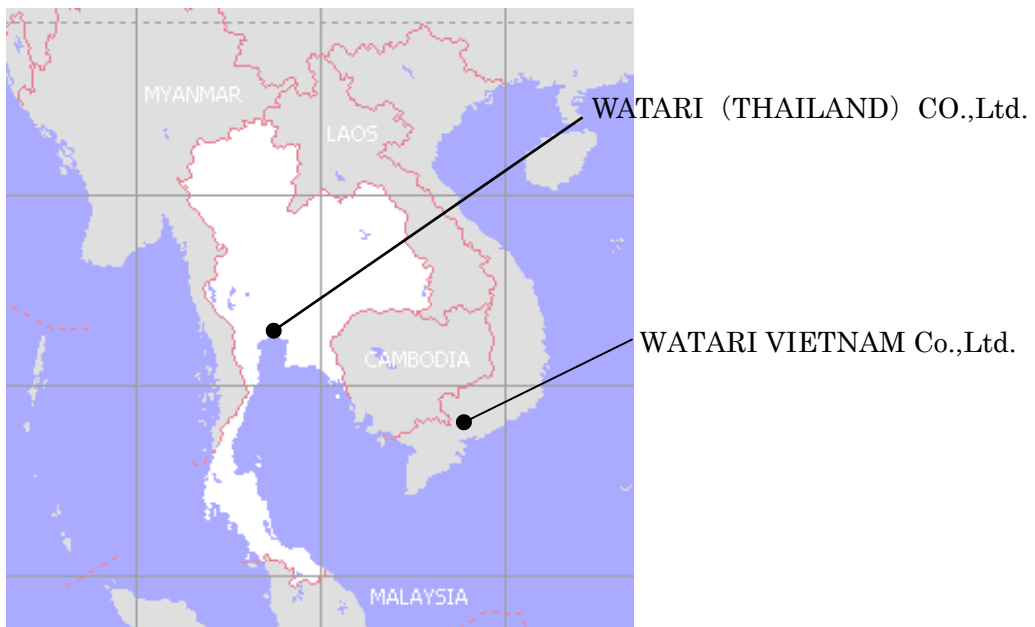
事 業 内 容：1. 一般工業用ガス・特殊ガス・ガスタンク・ガス機器

2. 溶断溶接用機器・器材

3. ガス供給設備・制御盤・消費設備・配管・配線の設計施工製作

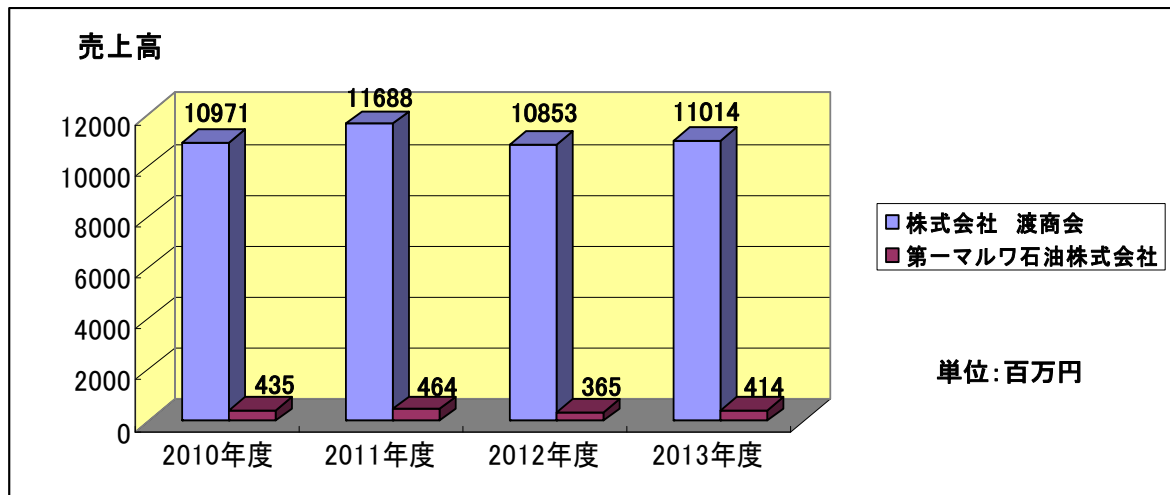
4. 水浄化システム

及び上記製品のスペアパーツと付属品。



(5) 売上高

株式会社渡商会及び第一マルワ石油株式会社の売上高の推移は以下のとおりです。



(6) ISO14001活動の取組み

ISO14001認証取得年月

2001年7月19日

ISO14001認証更新年月

2013年7月19日

認証範囲(サイト)

株式会社渡商会本社、厚木営業所、多摩営業所
第一マルワ石油株式会社本社

特定される活動

高圧ガス及び関連機器の販売、高圧ガス関連設備の
設計、施工管理

登録番号

01ER・143

審査登録機関

高圧ガス保安協会 ISO審査センター

(7) 報告書に関する情報

編集方針 本報告書は、ISO14001の認証取得の対象である、株式会社渡商会本社、厚木営業所、多摩営業所及び第一マルワ石油株式会社本社の環境保全活動に関して記載しています。

対象期間 2011年度から2013年度まで

2. ご挨拶

企業ビジョン

挑戦そして成長

私達は常に新しい分野に挑戦し、商社機能とメーカー機能を併せ持つ
国内外のリーディングガスカンパニーを目指します

当社は創業以来90年に亘り産業用・医療用ガスの専門商社としてお客様にさまざまな分野での高圧ガスの提供を行ってまいりました。確固たる保安への取り組みは当社の企業価値を向上させ、高い技術力に裏打ちされた高圧ガス設備の設計・施工ではお客様より高い評価を頂戴しております。

また近年においてはビジネスのフィールドを東南アジア諸国まで拡大するとともに、高圧ガス充填工場への出資、高圧ガスプラント建設・検査会社のM&A等、企業ビジョンに則ったメーカーとしての付加価値の追求も行ってきました。

今、高圧ガスを取り扱う現場では、保安を含む技術の伝承が重要な課題となっております。リーディングガスカンパニーへの挑戦の主体は社員一人ひとりの成長によるものとの思いから、社員の能力開発・研修制度を充実させると同時に、お客様構内での当社社員による保安教育の実施、メールマガジンによる定期的な保安情報の発信等のそれらの課題に対応する働き掛けを強めております。

環境問題に対する取り組みにつきましては2001年の本社でのISO14001の認証取得以来その活動領域を各地の営業拠点にも展開し、それぞれの社員が地球環境保全への高い意識を保持しながら、省エネルギー・省資源・リサイクルといった地道な活動を日常業務の中に定着させてまいりました。今後は、より有益な側面、即ち環境に優しい商品や設計・流通の展開、LNG・水素といった未来エネルギーへの関わりを通してよりポジティブな環境保全への取り組みを模索してまいりたいと考えております。

皆様におかれましては、是非とも本報告書をご高覧頂きまして、当社の活動にご理解を賜りますとともに、変わらぬご鞭撻・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



本社正面

2014年9月25日

株式会社 渡商会
代表取締役社長 河西哲男

3. 環境方針

(1) 環境方針

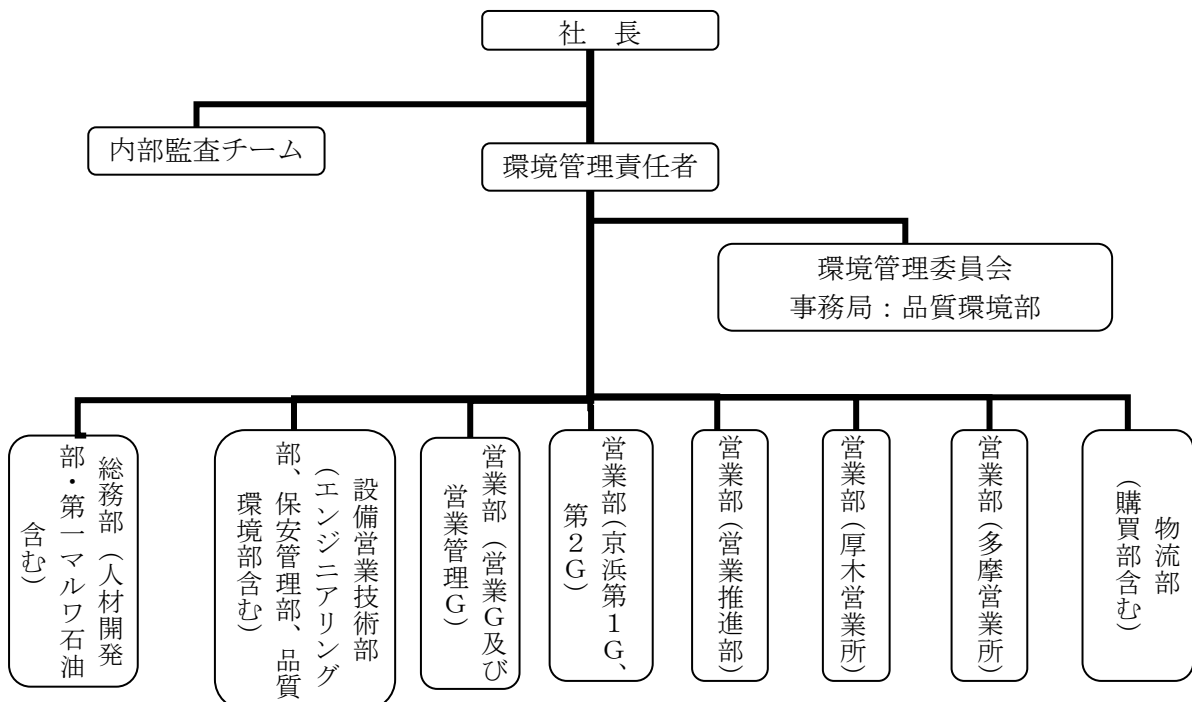
地球環境保全対策方針

2012年5月1日改訂
株式会社 渡商 会
代表取締役社長 河 西 哲 男

当社は、高圧ガスをはじめとする各種商品の販売及びサービスの提供を通じた事業活動の中で、地球環境保護の活動を推進し、全生物が豊かに共生しうる地球環境の維持を目指す。

1. 当社は、環境に関する適用可能な法的規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、汚染の未然防止に努める。
2. 当社は、企業活動のさまざまな局面において、地球環境への負荷の低減を図るため、次の事項を積極的に推進する。
 - (1) 省エネルギー、省資源
 - (2) 資源のリユース、リサイクル、廃棄物の削減
 - (3) 環境に配慮した商品の開発、販売、購入
 - (4) 未来エネルギー関連事業の強化
 - (5) フロンの回収、廃棄活動への関与
 - (6) 地球にやさしい流通の実現
3. 当社は、環境目的・目標を設定し、環境管理活動を推進するとともに、見直しの枠組みを設け、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
4. 本方針は、文書化するとともに、全従業員及び 当社のために働くすべての人に周知する。また、環境保全意識向上のための教育、啓蒙活動を実施する。
5. 本方針は、一般に開示する。

(2) マネジメント体制



4. 環境に関する取り組みの状況

(1) 著しい環境側面

2014年1月に実施した環境側面の定期見直しで、特定された当社の環境側面は以下のとおりです。

環境側面／環境影響	部署	定常時／非定常時
コピー紙の使用／天然資源	全部署	定常時
電気の使用／エネルギー	全部署	定常時
自動車燃料の使用／天然資源	全部署	定常時
排気ガスの発生／大気汚染	全部署	定常時
環境に配慮した商品の購入／有益な側面	全部署	定常時
フロン回収作業の提案／有益な側面	営業推進部	定常時
環境に配慮した商品の提案／有益な側面	京浜 1G, 2G、営業部、営業推進部、総務部、厚木営業所、多摩営業所	定常時
車両からの粉塵の発生／大気汚染	設備営業技術部、京浜 1G, 2G、営業部、営業推進部、総務部、厚木営業所、多摩営業所	定常時
環境に配慮した設計／有益な側面	設備営業技術部、厚木営業所、多摩営業所	定常時
可燃性ガス大量漏れの発生／職場環境	設備営業技術部、営業推進部、営業部、物流部、厚木営業所、多摩営業所	非定常時
毒性ガス大量漏れの発生／職場環境	営業推進部、営業部、物流部、厚木営業所	非定常時

(2) 環境活動：目標

環境方針、著しい環境側面、法規制等の要求事項から2012年度の環境目標を下記のとおり設定しました。

項目	2011年度目標	2012年度 目標	2013年度 目標
地球環境への負荷の低減	フロン回収作業の実施 12回	フロン回収作業の実施 12回	フロン回収作業の実施 12回
	低公害車の現状把握 チャレンジ 25 キャンペーン参加のための検討会 2回	低公害車の現状把握 チャレンジ 25 キャンペーン参加のための検討会 2回	チャレンジ 25 キャンペーンの取り組み 各種施策周知
省エネルギー・省資源の推進	電気使用量 2010年度比 15%減	電気使用量 2010年度比 16%減	電気使用量 2010年度比 17%減
	空調設備の更新 1台	空調設備の更新 1台	空調設備の更新 1台
	自動車燃料使用量 2010年度比 5%減	自動車燃料使用量 監視測定	自動車燃料使用量 2012年度比 5%減
		自動車燃料使用量 2011年度比 5%減	自動車燃料使用量 2011年度比 6%減
—	燃費向上 2011年度比 1%向上	燃費向上 2011年度比 2%向上	
省エネルギー・省資源の推進	コピー紙使用量 2010年度比 5%削減	コピー紙使用量 2010年度比 10%削減	コピー紙使用量 2010年度比 15%削減
		コピー紙使用量(厚木、多摩) 2011年度比 10%削減	コピー紙使用量(厚木、多摩) 2011年度比 15%削減

項目	2011 年度目標	2012 年度 目標	2013 年度 目標
廃棄物の削減及び資源リサイクル等の推進	産業廃棄物排出量 2010 年度排出量以下	産業廃棄物排出量 2010 年度排出量以下	産業廃棄物排出量 2012 年度排出量以下
	—	産業廃棄物排出量(厚木) 2011 年度排出量以下	
	再使用の推進 再使用件数 136 件	再使用の推進 再使用件数 136 件	再使用の推進 再使用件数 136 件
環境商品	環境商品販売実績 2010 年度比 5%増	環境商品販売実績 2010 年度比 10%増 (本社)	環境商品販売実績 2010 年度比 15%増 (本社)
		環境商品販売実績 2011 年度比 5%増 (厚木、多摩)	環境商品販売実績 2011 年度比 10%増 (厚木、多摩)
	環境商品の提案 75 ポイント	環境商品の提案 80 ポイント	環境商品の提案 85 ポイント
			環境商品販売の厚木・多摩 営業所以外の営業所への 展開
	グリーン購入実施 グリーン購入率 95%	グリーン購入実施 グリーン購入率 95%	グリーン購入実施 グリーン購入率 95%
	グリーン調達の推進	グリーン調達の推進	グリーン調達の推進
	事務用品以外のグリーン購入 の導入(12 種類)と拡大の 検討	事務用品以外のグリーン購入 の導入(13 種類)と拡大の 検討	事務用品以外のグリーン購入 の導入(13 種類)
法規制等の 順守	SDS の配布 100%維持	SDS の配布 100%維持	SDS の配布 100%維持
地域社会 との協調	会社周辺の清掃 年 4 回	会社周辺の清掃 年 4 回	会社周辺の清掃 年 4 回
教育、啓 蒙活動	外部講習への出席 9 人	外部講習への出席 9 人	外部講習への出席 9 人
	環境パトロールの実施 年 6 回	環境パトロールの実施 年 6 回	環境パトロールの実施 年 6 回
	下請業者への 環境情報の提供 年 2 回	下請業者への 環境情報の提供 年 2 回	下請業者への 環境情報の提供 年 2 回
地球に優 しい流通 の実現	物流関係燃料使用量につ いて現状把握の継続	物流関係燃料使用量につ いて現状把握の継続	物流関係燃料使用量につ いて現状把握の継続
	C02 排出量の集計方法につ いて検討する	C02 排出量の集計方法につ いて検討する	C02 排出量を集計する

(3) 環境活動：結果

2013年度の各項目の達成状況は以下のとおりです。

No.	目的	目標	判定
1	フロン回収・廃棄活動の推進	フロン回収作業 12回実施	×
2	車両の排ガスのクリーン化	チャレンジ25キャンペーンの取り組み 各種周知施策	○
3	電気使用量の削減	電気使用量 2010年度比 17%削減	○
		空調設備の更新 1台	○
4	自動車燃料使用量の削減	自動車燃料使用量 2012年度対比 5%削減 本社	○

No.	目的	目標	判定
4	自動車燃料使用量の削減	自動車燃料使用量 2011年度対比 6%削減 厚木、多摩	○
		燃費向上 2011年度比2%向上	○
5	コピー紙使用量の削減	コピー紙使用量を2010年度対比 15%削減 本社	○
		コピー紙使用量を2011年度対比 15%削減 厚木、多摩	○
6	廃棄物の削減	産業廃棄物排出量 2012年度実績以下	○
		再使用の推進 再使用品登録票利用による再使用 件数	○
7	環境商品の提案	環境商品販売実績2010年度実績の 15%アップ(本社各部署)	○
		環境商品販売実績2011年度実績の 10%アップ(厚木営業所、多摩営業所)	○
		環境商品の提案 85ポイント(営業部)	○
		環境商品販売の厚木・多摩営業所以外の営業所への 展開	○
8	グリーン購入の推進	グリーン購入実施 購入率95%	×
		グリーン調達の推進(購買部)	○
		事務用品以外のグリーン購入の導入(12種類)	○
9	SDSの配布	SDSの配布 100%維持	○
10	会社周辺の従業員による一斉 清掃	会社周辺の清掃 年4回	○
11	従業員環境教育	外部講習への出席 9人	○
12	環境パトロールの実施	環境パトロールの実施 年 6回	○
13	下請業者へ環境情報提供	下請業者の環境情報提供 年 2回	○
14	エネルギー使用の合理化	物流関係燃料使用量について現状把握の継続	○
15	CO2排出量の少ない流通の 実現	集計中	○

判定 ○：達成 ×：未達成

(4) 個別の環境活動について

①地球環境への負荷の低減

i) フロン回収

得意先の冷蔵庫やエアコンの冷媒に使用されている特定フロン(CFC)や代替フロン(HCFC)の回収作業を積極的に案内することにより、オゾン層破壊の防止に努めています。

	2011年度	2012年度	2013年度
回収実績(回数)	13回	12回	7回
回収量等の実績(Kg)			
CFC	75.10	0.00	0.00
HCFC	1980.00	192.00	22.00
HFC	370.50	909.91	303.65
回収実施地域	神奈川県、東京都等	神奈川県、東京都等	神奈川県、東京都等
売上金額(概算:円)	3,813,000	2,977,000	

当社は、以下の都県でフロン回収業の登録をしています。

神奈川県、東京都、埼玉県

ii) 車両の排気ガスのクリーン化

当社の使用する車両は全て排出ガス規制の適合車となっています。

「かわさきエコドライブ宣言」に登録し、川崎市で毎年2回行われるエコドライブ講習会に参加し、ています。

また、環境省によるチャレンジ25キャンペーンに登録し、エネルギー使用の削減に協力しています。

②省エネルギー・省資源の推進

i) 電気使用量の削減

電気使用量の推移は以下のとおりです。

単位：kWh

	2011年度	2012年度	2013年度
本社	157,393	160,354	148,961
厚木営業所	16,675	16,959	13,775
多摩営業所	8,659	7,699	7,569
合計	182,727	185,012	170,305

節電施策例は以下のとおりです。

昼休み消灯、クールビズの実施

省エネルギー型安定器への交換

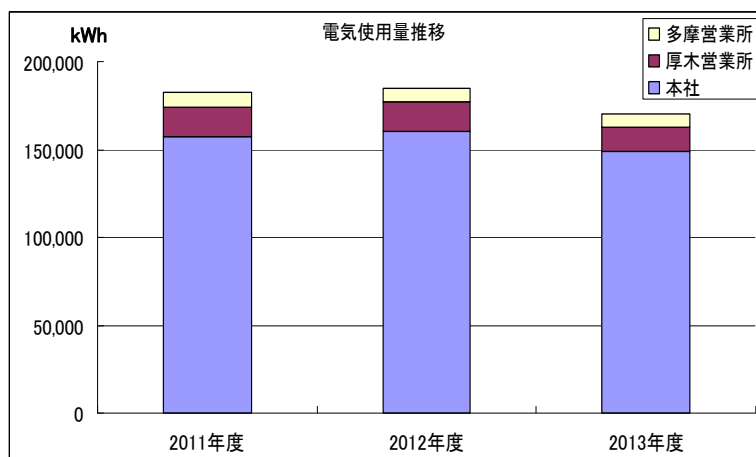
蛍光灯の間引き

LED電球、電灯への交換

節電モード（PC）の設定

社内パトロールによる離席時消灯

の励行



ii) 自動車燃料使用量の削減

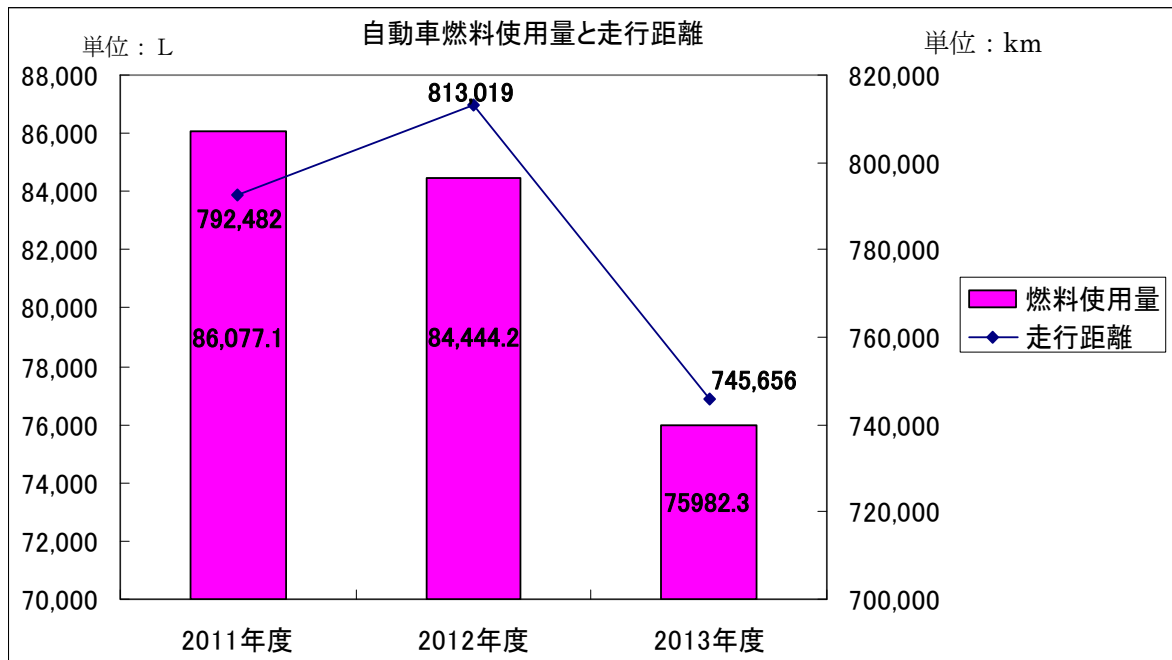
自動車燃料使用量の推移は以下のとおりです。

単位：L

	2011年度	2012年度	2013年度
本社	64,485.2	66,517.1	59,257.04
厚木営業所	14,731.7	12,205.9	9,658.60
多摩営業所	6,860.2	5,721.2	7,066.66
合計	86,077.1	84,444.2	75,982.30

尚、本社、厚木営業所、多摩営業所の車両の総走行距離の推移は以下のとおりです。 単位：Km

	2011年度	2012年度	2013年度
本社	571,368	618,973	564,103
厚木営業所	145,820	129,015	104,249
多摩営業所	75,294	65,031	77,304
合計	792,482	813,019	745,656



※参考 本社、厚木営業所、多摩営業所の保有車両は以下のとおりです

単位：台

自動車燃料に関する取り組みは、従来総使用量を指標としてその削減に取り組んでまいりました。

車両そのものが低燃費車へ入替えとなったり、その他様々な要因で使用量は削減されてまいりましたが、当社の車両は、営業活動で使用するため、業務との兼ね合いで使用量をむやみに減らすことには困難を生じてきています。

部署	年度	2011	2012	2013
		2011	2012	2013
本社 自動車台数	乗用車	4	3	4
	トラック	2	3	4
	バン	32	31	33
厚木営業所 自動車台数	乗用車	5	4	2
	トラック	1	1	1
	バン	3	3	3
多摩営業所 自動車台数	乗用車	1	0	2
	トラック	1	1	1
	バン	3	4	3

2013年度からは、指標を使用量と燃費として取り組む予定です。

iii) コピー紙使用量の削減

コピー紙使用量の推移は以下のとおりです。

単位：枚（A4換算）

	2011年度	2012年度	2013年度
本社	160,369	163,156	142,258
厚木営業所	(注) 26,638	38,303	40,723
多摩営業所	(注) 14,547	23,112	25,270
合計	201,554	224,571	208,251

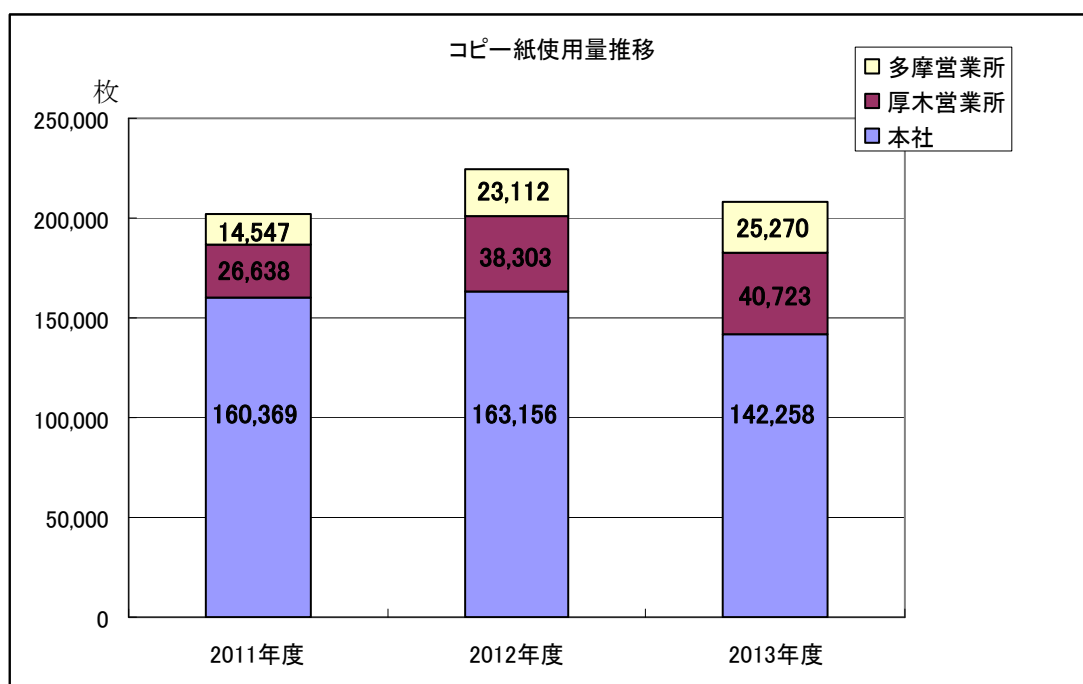
注 2011年度の厚木営業所、多摩営業所のデータは下期（6ヶ月）のみのデータです。

施策の例：両面印刷、裏紙の使用、FAX受信の電子化等

また、紙そのものを使用しないという考えに基き、社内システムの電子化（各種申請のデータベース利用）を進めています。

コピー紙ではありませんが、コンピュータのストックフォームや、売上記録用に使用する専用の用紙を廃止して、紙の使用量の削減に努めています。

但し、一部では専用の用紙を廃止しましたが、コピー紙による印刷へ移行している場合があります、その分がコピー紙使用量の増加の要因となっています。



③ 廃棄物の削減及び資源リサイクルの推進

i) 産業廃棄物排出量の推移

単位：m³

	2011年度	2012年度	2013年度
本社	21.0	21.0	16.0
厚木営業所	—	21.0	11.0
多摩営業所	—	—	—

* 多摩営業所では、自社にて厚木営業所へ産業廃棄物を移動しまとめて委託業者に処理を依頼しています。

* 本社での産業廃棄物の主な種類は、廃プラスチック、木くず、ガラス、陶磁器くず等です。

ii) 金属リサイクルの取り組み

本社では、産業廃棄物のうち各種金属類を構内で分別し、金属スリサイクル業者へ持ち込みリサイクルに取り組んでいます。

金属リサイクル業者への持ち込み量の推移

単位：Kg

	2011年度	2012年度	2013年度
アルミニウム	—	—	110
鉄	1,620	1,530	3,770
銅系非鉄	270	130	370
ステンレス類	—	190	940
合計	1,890	1,850	5,190

iii) 紙類リサイクルの取り組み

当社では、不要な紙類も大量に発生するため、一時保管場所を設け、構内で分別して古紙リサイクル業者へ持ち込みリサイクルに取り組んでいます。

古紙リサイクル業者への持ち込み量の推移

単位：Kg

	2011年度	2012年度	2013年度
ダンボール	1,590	2,040	1,660
雑誌類	2,610	2,910	3,250
合計	4,200	4,950	4,910

*雑誌類には、新聞紙及びコピー紙等が含まれ、リサイクル業者へ持ち込む際には、分別しています。

iv) 再使用の取り組み

当社では、本社独自の取り組みで、事務用品を主に物品の再利用、長期使用を目的として再使用という活動を行っています。

各部署で不要なものを社内ネットワーク上に登録し、他部署がそれを再利用（再使用）するというものです。実績をポイント制とし、各部署が数値目標にして活動しています。

再使用ポイントの推移

単位：ポイント（件数）

年度	2011	2012	2013
再使用ポイント	152	153	175

*再使用した物品の例：クリップ、ダブルクリップ、ホチキス、消しごむ、パイプファイル配管材料、緩衝材等

④環境商品の取り組み

高圧ガスを始め、当社の取扱商品のうち、省エネルギーである、リサイクル材を使用している、リサイクル可能である、省資源であるなど、お客様にとって有用な商品を、環境商品として特定し、積極的に提案し販売しています。

環境商品売上金額の推移

単位：千円

年度	2011	2012	2013
部署			
本社	167,573	233,412	502,019
厚木営業所	24,009	68,422	77,996
多摩営業所	76	124	48,938
栃木、上武、三重、名古屋、福岡	—	—	270,409
合計	170,058	301,958	899,362
上記3部門の売上総額	5,764,921	5,573,584	

*栃木、上武、三重、名古屋、福岡の各営業所は、2013年度下期から取り組みを開始しました。

主な環境商品の例

◎エネブライト 水銀灯の代替となる無電極電球です。

特徴：長寿命 —フィラメントが無いので球切れしません。
省エネルギー —同じ明るさなら消費電力1/5

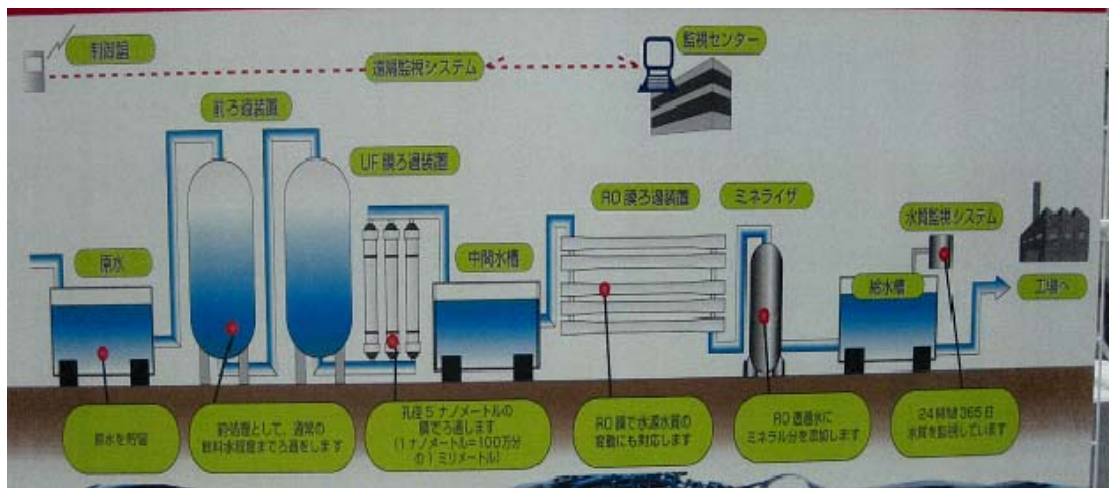
設置例：





エネブライト導入状況（H社 組立工場）

◎地下水膜ろ過システム



地下水を安全・安心な飲料水に変えるろ過システムです。「水道料金の削減」、「事業継続」、「地域貢献」、「環境保全」などの効用を提供しています。



自動車工場に導入しました。

⑤地域社会との共生

本社、厚木営業所、多摩営業所では、事務所周辺の清掃活動を実施しています。各年度4回実施を計画し、2012年度も本社、厚木営業所、多摩営業所それぞれ4回実施しました。

*清掃実施区域

- (a) 本社 本社の面している国道15号線を東京方面に向かい、新子安駅脇の陸橋を利用して戻る両側の歩道
- (b) 厚木営業所 営業所入り口を中心に、右側は隣のガソリンスタンドまで、左側は回り込んだ土手のグリーンベルトまで
- (c) 多摩営業所 営業所正面道路の左右及び都道59号線の周辺

清掃の様子

(本社)



(厚木営業所)



(多摩営業所)



⑥法令順守の状況

2013年度の主な法令等の遵守状況は以下のとおりです。

名称 (一部略称あり)	主な要求事項	遵守状況
高圧ガス保安法	販売業届出、販売主任者選任、周知の実施	○
液化石油ガス法	販売事業登録、保安業務の実施	○
毒物劇物取締法	事業登録、取扱責任者選任、保管状況、譲渡書の保管	○
薬事法	卸売り販売業許可、	○
労働安全衛生法	安全責任者・衛生責任者選任、各種講習・特別教育の受講	○
廃掃法	特別管理産業廃棄物管理者の選任、マニフェスト管理、報告	○
フロン回収破壊法	届出、回収量の報告	○

また、P R T R法等で規定されているSDSにつきましても、配布済みです。

⑦物流関連のエネルギー使用の状況

お客様への高圧ガスの納入には様々な形態があります。

- ・ 当社の配送車を使用した配送
- ・ 配送契約による当社専属の配送車による配送
- ・ 製造メーカーからの直送

など

そこで、当社では当社の配送車、専属の配送車、直送のタンクローリー等について、省エネルギー法に定めるトンキロ法によりその使用状況を監視しています。

単位：千トンキロ

年度	2011年度	2012年度	2013年度
輸送量	3,535	3,348	

⑧教育関連

年2回実施する管理層を含めた定期教育のほか、外部講習に積極的に参加しています。

年度	2011年度	2012年度	2013年度
参加人数(延べ)	9名	19名	13名

※ 2013年度で参加した外部講習の例

ISO14001基礎コース、内部監査員養成セミナー、審査員最新情報講演会
エコドライブ講習会、グリーン購入法基本方針説明会、環境配慮法説明会など

⑨2013年度CO₂排出量

項目	エネルギー源 CO ₂ 排出係数 (環境省ホームページより)	使用量	CO ₂ 排出量 kg
電気使用量	0.464kg/kwh	170,305kwh	79021.52
LPガス(※1)	1.8kg/m ³	204m ³	367.2
水道	0.16kg/m ³	1,119m ³	179.04
ガソリン	0.64kg/l	75,983l	48,630
ごみ(※2)	0.24kg/kg	1,196.3kg	287.112
排出量合計			128,484.872

※1 自家使用のため概算

※2 1m³=1,000kgに換算

CO₂排出量の推移

単位：kg

年度	2011年度	2012年度	2013年度
CO ₂ 排出量	105,971	136,750	128,484

5. 投資

単位：円

番号	項目	2011年度	2012年度	2013年度
1	備品	126,582	322,560	265,732
2	設備工事	0	0	0
3	審査登録等	448,962	588,220	1,005,763
4	講習研修	44,030	260,182	181,434
5	法令等書籍	162,477	253,805	237,156
	合計	782,051	1,424,767	1,690,085

補足 2013年度の主な内容は以下のとおり

備品 : 電力量測定用簡易データロガー、LED蛍光灯

審査登録等 : 審査登録費用、グリーン購入ネットワークへの登録費用

講習研修 : 内部監査員講習、ISO基礎研修、ISO改正最新動向説明会

法令等書籍 : 法令データベース維持費用、定期購読書籍、JIS規格書



株式会社 渡商会

〒221-0021 横浜市神奈川区子安通 2-234

TEL 045-441-1330 FAX 045-441-1567

<http://www.watari.co.jp>